

日韓市民ネットワーク・なごや

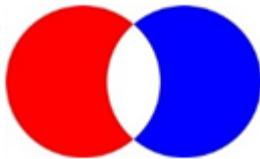
会報 No.73
2015-2-28

일한 시민 네트워크 · 나고야

発行者：後藤 和晃
〒483-8037 愛知県江南市勝佐町東郷 238
TEL/FAX 0587-56-6788

Home Page : <http://home.m00.itscom.net/nikkan/index.html>

朱色



紺青

- 目次
- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 事務局通信 | 統括幹事：後藤和晃 |
| 2. 会の活動報告 | 事務局 |
| 3. おしらせ | 事務局 |

사무국통신 事務局通信

事務局 統括幹事：後藤和晃

1. 交流の意思を強めた第18回総会と交流会 ～日韓国交回復50周年に集う～

日韓条約が締結され、日韓の国交が回復したのは1965年(昭和40年)6月22日のこと、今年は国交回復50周年という大きな節目の年になります。しかし一時は、両国の間に良好な隣国関係が築かれつつあったものの、ここ数年、政府間の関係が急激に悪化してきています。



名誉顧問 鄭煥麒さん

私たちは「こんな時こそ、民間団体が韓国の市民たちとの友情の絆を地道につないで行かなければ！」と2月1日(日)に第18回総会と国交回復50周年の交流会を実施しました。会員の皆さんも日韓の現状に危機感を抱いていられたようで、総会には40人、交流会には60人もの多彩な人たちの参加がありました。凍結状態にある日韓関係のしこりを少しでも融かしていきたいとの思いが、会場に熱っぽく漂っていたのを嬉しく思い出します。総会では、例年行ってきた交流事業に加え、今年は永らく交流関係を保ってきた大邱(テグ)と大田(テジョン)に、春4月、変わらない友情を届ける交流団を送りたいと申し上げ、予定の中に入れて頂きました。総会で審議し、承認、決定を受けた内容は3ページ以降に掲載してありますので、ご覧下さい。総会の後、イタリアレストランでの交流会では名誉顧問の鄭煥麒さんをはじめ顧

問の石原俊洋さん、尹大辰さん、李尚勳さん、協力者の鄭禧昇さんなどから祝辞や「今こそ民間交流の出番ですよ！」などとの激励をいただきました。

会場には4月に大邱を訪問する“大邱農民の恩人、水崎林太郎翁”の曾孫の小野裕美さんと長男の陽平君(10才)の姿もありました。陽平君は1才、3才、5才と大邱を訪問、今度で4回目の訪韓となります。

大田訪問を心待ちのしていたのが大久保孝造さんでした。大田から一緒に引き揚げてきた兄や弟をここ数年のうちに相次いで亡くし「自分が元気なうちに妻や息子夫婦も連れて4月には必ず大田を訪れます」と話しておいででした。

ここで大邱と大田への友情の使節団の日程を紹介しておきます。期間は4月9日から12日までの3泊4日です。9日(木)



の朝セントレアから仁川に飛んで、陸路を大邱に移動、この夜に開催される“水崎翁シンポジウム”に参加します。翌10日(金)は水崎翁が80数年前に5万坪の広さがある農業用貯水池として建設した寿城池を視察の上、池の横で開かれる水崎翁追慕祭に出席します。その後、大邱市民たちと会食し大田へと移動しま

会員の皆さん



す。

11日(土)朝、戦前大田で亡くなった日本人の遺骨を納めてある弘道塚を参拝、その後大田の発展史を展示してある旧道庁の資料館を訪問、市の関係者に挨拶をします。夜は大田市民と会食。翌12日は、帰国の日ですが、参加者の希望を聞き、ソウル経由で仁川に行くか、扶余経由にするか後ほど決めます。ぜひ多くの皆さんが4月の友情を届ける旅に参加していただくようお願いします。



陽平君は水崎林太郎さん玄孫 (左は母)

2. 韓国外務部長官から表彰状届く

1月24日(日)、名古屋で、会の総括幹事である私、後藤和晃が韓国のユン・ビョンセン外務部長官(外務大臣)からの表彰状をうけとりました。

この表彰状は永年にわたって日韓市民の交流に尽力したという理由によるものようですが、私は第18回総会場で、ご出席の皆さんに次のように申し上げました。

「頂いた表彰状は、過去17年間、毎年、私たちが韓国の学生や市民との交流を、うまず、たゆまず続けてきたことを顕彰しているものと考えます。

韓国からの学生交流団の招聘、奈良1泊旅行のプレゼントそしてホームステイに始まり、犬山市の八曾自然林を舞台にし

た留学生や在日の皆さんと楽しむ山歩きやバーベキュー さらに日韓交流史講座の開講や韓日歴史文化フォーラムの継続など、どれひとつ取っても会員の皆さんの協力なくしては、実施が不可能のものばかりです。韓国から届いた表彰状には、会の代表としての私の名が書いてありますが、その実、17年間、会の活動を支えて頂いた皆さん1人1人に贈られた感謝状なのだと理解しています。本当にありがとうございました」と・・・



朴煥善韓国総領事(左)
後藤和晃総括幹事(右)



회의 활동보고 会の活動報告

第18回総会で審議・承認された案件

- ① 2014年度 実施事業
- ② 2014年度 会計報告
- ③ 2015年度 組織
- ④ 2015年度 実施予定事業

“日韓市民ネットワーク・なごや” 2014年度事業報告

日韓市民ネットワーク・なごや

月	日	曜日	行事	備考
4	11	金	水崎林太郎翁追慕祭に参加 ～ 韓国・大邱市寿池 ～	事務局 後藤・鈴木
	27	日	日韓市民ネットワーク・なごや第17回総会 日韓交流史講座Ⅵ 山東半島(1) ～考古学で見る山東半島～	事務局・会員 前日本考古学会会長 西谷正氏
5	25	日	日韓交流史講座Ⅵ 山東半島(2) ～鬼神がやってきた道～	奈良大学教授 千田稔氏
6	21	土	日韓交流史講座Ⅵ 山東半島(3) ～慈覚大師 円仁と張保皋～	京都毘沙門堂執事長 小林祖承氏
7	11～16	金～水	韓国高麗大・交流回来名 奈良同行・ホームステイ	事務局・会員・協力者
	27	日	日韓交流史講座Ⅵ 山東半島(4) ～山東半島の近現代～	日比谷高校教諭 武井一氏

9	15~19	月~金	日韓交流史講座Ⅵ 現地旅行 中国山東半島紀行 ※参加18人	
11	1	土	日韓交流大野遊会 (犬山市・八曾)	会員・留学生ら45人
11	7	金	光州弁護士会と交流	日韓あわせて11名
2015年				
1	24	土	韓日歴史文化フォーラム10周年記念講演	第15代 沈寿官 氏
2	1	日	第18回総会・国交回復50周年記念交流会	会員・協力者・留学生等

2014年度 会計報告書

自 2014年4月1日 至 2014年12月31日
(今期 総会の日程上 会計期間変更 理事会にて承認済)

前年度繰越金 474,764円
今年度収入額 406,182円
今年度支出額 451,818円

次年度繰越金 429,128円
内訳 郵便貯金 429,128円

収入の部		支出の部	
会費	299,000	通信費	177,148
内訳	4,000円 74名	会報・案内・資料送付	57,148
	3,000円 1名	事務局電話等活動費用	120,000
寄付金	2,000	印刷・コピー費	31,863
7/11 韓国 高麗大学訪問団 寄付金の残金		事務用消耗品費	35,570
	105,044	日韓交流関係費	89,252
受取利子	138	ホームページ運用費	33,024
		会議・会場費	4,591
		協力者謝礼	49,721
		交通費・下見費用	8,128
		雑費・手数料	22,521
計	406,182	計	451,818

2014年12月31日 上記の通り報告いたします。

会計

岡本弘恵 

監査の結果、正確であることを認めます。 会計監査

伊藤義郎 

2015年度 組織表

顧問 回	名誉顧問	鄭煥麒
	"	横内 恭
	"	伊藤秋男
	代表顧問	石原俊洋
	顧問	尹大辰
	顧問	李尚勳

幹事 回	統括幹事	後藤和晃
	副統括幹事	大嶋 明
	相談役	田口良浩
	幹事(会計)	岡本弘恵
	幹事(留学生)	須田奈保美
	幹事(高・大生)	久田光政

事務局	事務局長	後藤和晃
	事務局次長	大嶋 明
	事務局次長	東 道生
	幹事兼務グループ	
	事務局	石田樹梨
	事務局	武田章敬
	事務局補佐	山田雅樹

交流 リ ダ 1	武井 一	日韓交流史
	宮本昌子	日本語指導
	加藤 勝	囲碁交流
	伊藤義郎	歴史・考古
	土岐良文	歴史・考古
	三尾和廣	森で遊ぶ
	土本美恵子	
	田口良浩	ハイキング
	長澤 進	日本古典音楽
	鈴木健介	大学生・留学生

グ セ ル ワ ヤ プ キ	増田一夫	松田哲育
	佐藤昭子	山田あき子
	鈴木真由	山本玲子

監査	会計監査	伊藤義郎
----	------	------

2015年度 事業予定

月	日	曜日	行事	備考
4	10	金	韓国・大邱市 水崎翁追慕祭	遺族・会員ら参加 大邱関係者らと交流
	11	土	韓国大田市 弘道塚参拝	引揚者・会員ら 大田関係者と交流
	22	水	韓日・歴史文化フォーラム 大戦後・韓半島の庶民の暮らしは？	早大講師 伊藤亜人氏
5	23	土	交流史講座Ⅶ “古代の九州北部地方” 新羅・伽耶と九州北部の絆	日比谷高校教諭 武井 一氏
6	27	土	交流史講座Ⅶ 九州北部に見る渡来文化(1)	海の道むなかた館 館長 西谷正氏
7	25	土	交流史講座Ⅶ 九州北部に見る渡来文化(2)	上 同
7 ~ 8	未 定		韓国(大邱)学生交流回を招へい ※奈良一泊旅行とホームステイ	引率者~慶北大 朴天秀教授
9	26	土	交流史講座Ⅶ 新羅神が来た道	日比谷高校教諭 武井 一氏
10	24	土	交流史講座Ⅶ 宗像信仰と大和朝廷	宗像大社学芸員 福島真貴子氏
	31	土	日韓交流野遊会 ~犬山市八曾自然林~	会員・協力者 留学生など
12	4~ 7		九州北部旅行予定 場所及びスケジュールなどは検討中	
2016年				
2	7	日	第19回総会と交流会	会員・協力者



알림 お知らせ

1. 2015年度の会費の 納入をお願いします

年会費は次のようになっています

年会費	成人	4,000円
	学生	2,000円

口座名 日韓市民ネットワーク・なごや

口座番号 00830-4-36485

※恐縮ですが、年会費の振り込みは、同封の振替用紙にて
郵便局から会の口座あてお振込みください
用紙を失くした方は上記口座番号でお送りください。



2. 第40回韓日歴史文化フォーラムの予定

日時 4月22日(水) 18:00～
場所 愛知韓国会館5F大ホール
※地下鉄 東山線亀島駅下車1分
テーマ 大戦後 韓半島の庶民の暮らしは
どう変わってきたか
講師 東大名誉教授 伊藤亜人氏
※著作に「韓国」「韓国夢幻」など
内容 伊藤氏は東大出身の文化人類学者。



戦後の韓国の庶民の暮らしの激変ぶりを
珍島周辺を中心に長期にわたって観察、研究
最近是中国東北部(旧満州)まで出かけて北朝鮮からの
脱北者からも聞き取りを行い北朝鮮庶民の暮らしまでも
調査の対象としています。韓半島の庶民の暮らしの変化
について貴重な証言ができる第1人者です。
ぜひ お出かけください。



3. 2014年に入会した皆さんを紹介します

伊藤廣枝 加藤和彦 加藤淳子 川澄真紀子 国保吉孝

富田鉦二 長沼士郎 中村裕子 林めぐみ 村越 稔 服田次代

編集 応援(非会員) 中川修介